

ハンドブック
ワンポイント
レッスン

知っておきたい規則とルール

Question

中学校のソフトテニス部の顧問をしています。

試合中ラケットのストリングが切れたときはそのままそのラケットを使用できるでしょうか？

使用できない場合、予備のラケットがなければ棄権するしかないのでしょうか？

応援席の同僚のラケットを借用できればそのラケットを使用して試合続行は構わないのでしょうか？

Answer

マッチ中はストリングの張り替えやグリップテープを巻き替えるなど、ラケットの修理をする時間は禁じられていますので、予備のラケットを携行するように心がけましょう。

顧問の先生は子供達の保護者に余分な経済的負担をかけないように考えておられる事が、ご質問の内容によくあらわれていますね。

中学生に初めから複数のラケットを持たせる事は出費多難な時、もう1本持った方がいいとは言えませんよね。しかし、今回のご質問の様にマッチ中に使用しているラケットのストリングが突然切れた時は、その愛用しているラケットは使用出来ない事になっております。この事は、競技規則第14条(ラケット) 第4項には「ストリングはボールに過度の変化を起こさせるようなものであってはならない。」さらに、[解説4] 2. では「打球面に異物を取り付ける等で、ボールに特別な影響が与えられる場合は、そのラケットの使用を認めない。判断はレフェリーが行う。」となっています。ストリングの切れたラケットを使用することは上記の規則に反するので使用できない事になっています。そこで、タイムを取ってストリングの修理をしようとしても競技規則第15条(プレーヤーの心得) 第2号にマッチの開始から終了まで連続的にプレーし、次の行為をし

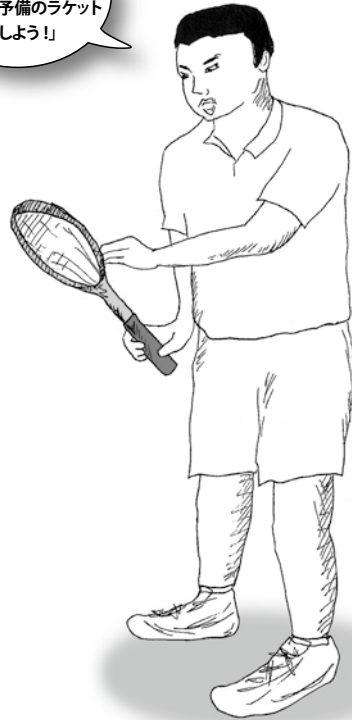
てはならない。そして「力」に、ラケットの修理をすることを禁じています。

そこで、1本しか持っていない時はタイムの時間をもらい、修理ではなくとりあえず仲間のラケットを借りてでも続行すればその場はクリアする事が出来ますね。ストリングの切れたラケットをすぐ仲間が修理して来てくれると、次に勝ち進んだ時は愛用のラケットが使用出来るので大変助かります。そんな事もあって、大会に出場される時は、複数のラケットが必要になる時があり、替えラケットの準備をしておくことが必要になる事があります。ところで、予備のラケットについては、自分のラケットでなければいけないということはどこにも記載されていないので、仲間(同僚)のラケットを借りることは問題ないこととなりますが、自分に合っていればいいのですが…。これで3つ目の質問は解決しましたね。

ところで、ストリングが切れる。また、ラケットが折れる事もありますよね。その様な時に、ラケットを1本しか持っていないので棄権しなければなら

いことになる事は、とても残念なことです。今回も普段は考えない問題ですが、起きた時どうすればよいかを考えると、大変参考になる質問を頂きありがとうございました。今後技術も向上し複数(グリップ・ストリングの張り・重さ・バランス・デザイン等、或は同質の)のラケットを持つ事が出来れば、コンディションによって使い分けすると良いでしょう。

「あっ
ストリングが切れた!
すぐに予備のラケット
と交換しよう!」



【関連規則】

競技規則 第14条 (ラケット) 及び [解説4] 2

競技規則 第15条 (プレーヤーの心得) (2) カ

競技規則 第41条 (警告)

競技規則 第39条 (棄権) (2)

競技規則 第42条 (失格) 2 (3)

審判規則 第20条 (警告)

審判規則 第18条 (棄権) (2)

審判規則 第21条 (棄権) 2 (3)

ジュニア審判マニュアル

競技規則について

3. ラケット

4. プレーヤーがよくわかっていなければならないこと
(心得) (2) ⑦

16. 警告、16. 棄権になるのはどんなときか? (2)

18. 失格になるのはどんなときか? (4)